

# 国連持続可能な開発のためのハイレベル政治フォーラム（HLPF）

2015年9月に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において、SDGsの実施をレビューするグローバルレベルでのフォローアッププロセスと位置づけられている会合。4年に1回、国連総会の際に開催される首脳級会合（＝SDGサミット。2015年と2019年は安倍総理が出席）と毎年7月に経済社会理事会主催で開催される閣僚級会合の2種類がある。全ての国連加盟国や国際機関、地域機関、市民社会等が参加。

## 2023年会合の対応

武井俊輔外務副大臣が出席し、我が国政府を代表してステートメントを実施。

ステートメントの中で、新型コロナやロシアによるウクライナ侵攻の影響によりSDGs達成に向けた進捗に遅れが生じている中、国際社会全体でのSDGs達成に向けた取り組みを改めて加速することの必要性につき述べ、連帯の精神の下、有言実行が重要であると指摘。その上で、我が国が重視している「人への投資」に触れ、教育、国際保健、防災、気候変動といった分野での我が国の具体的行動について紹介し、G7広島サミットの議長国として、国際社会全体でのSDGsの達成に向けて主導的な役割を果たしていく旨述べた。

